

料金後納
郵便

転送不要

大腸がん 検診の お知らせ

3

4

このお知らせは、札幌市の大腸がん検診を令和2年10月～令和3年9月に未受診の方に送付しております。そのため、直近に受診された方にも送付されている場合がありますので、行き違いでハガキが送付された場合はご容赦ください。

国立がん研究センター
齋藤博先生

OPEN

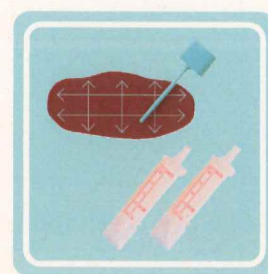
「自宅で簡単にできる」

大腸がん検診は便検査です*。

「大腸がんって、お尻からカメラ入れるやつでしょ」と誤解してる方多いんです。大腸がん検診は自宅で便を2日間採取して医療機関に提出するだけ。それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。



検査キット



容器のフタについた棒で便の表面を採取

注) 痔の方もお受けください。現在明らかな出血や痛みがある場合は時期をずらして受けることをおすすめしますが、そのような症状がない場合は検査結果にはほぼ影響がありません。

* 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つからない場合もあります。

この庄着はがきは、国立がん研究センター希望の虹プロジェクトが作成しました。

大腸がん検診の流れ

対象：満40歳以上

1.医療機関を選ぶ

市ホームページに掲載されている医療機関リストからお選びください。 →



詳しくは

2.医療機関に大腸がん検診を受けたい旨を事前連絡する。札幌市の

3.医療機関に検査容器と問診票を取りに行く(健康保険証など氏名・年齢・住所を確認できるものを持参)

4.自宅で便を2日間採取

5.検査容器と問診票を医療機関に提出

6.検査の結果*

約2～3週間程で結果が出ます。検査結果を確認してください。

「要精密検査」という結果が出た場合は、必ず医療機関で精密検査を受けてください。

精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査です。

* 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

札幌市より約3,600円の助成*があります。

大腸がん検診(便検査)は助成がない場合、4,000円程度かかる検査ですが、市の検診を受けると、市から約3,600円の助成を受けていることになります。(自己負担400円)

*現金が支給されるわけではありません。

検査費用	約4,000円
- 助成金	約3,600円
自己負担金	400円

自己負担が免除される方(確認書類が必要)
市・道民税非課税世帯の方、生活保護世帯の方、
満65～69歳の方で後期高齢者医療被保険者の方、
満70歳以上の方、中国残留邦人等の支援給付世帯

*自己負担とは、実施医療機関の窓口にお支払いいただく金額のことです。
*現金が支給されるわけではありません。*事前手続きは不要です。
*400円で受診できます。*1年に1回受診できます。

お問合せ先(一般的なこと) **札幌市コールセンター**

電話：011-222-4894(年中無休8:00から21:00まで)
*検診予約は医療機関等へ

〈担当〉札幌市保健福祉局保健所健康企画課
〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 3階
電話：011-622-5151

札幌市がん検診ホームページ | 札幌市がん検診 | 検索

詳しくはホームページをご覧ください。

実施医療機関はこちら➡



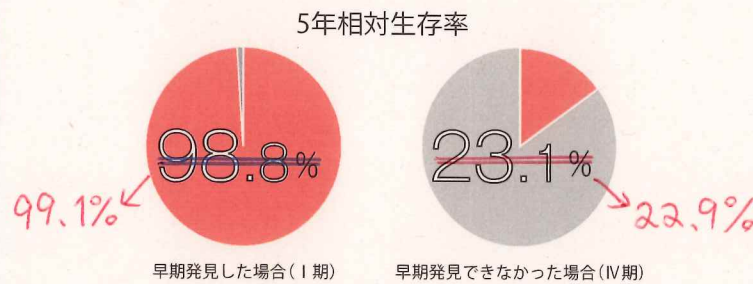
OPEN

POSTCARD

斎藤医師に聞きました。大腸がんについて、大事なポイント

「早く見つけて、早く治す」ことが大切。早期のうちに治療すれば95%以上が治癒します*1。

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術(入院は2～3日、または必要なし)で治療が可能です。しかし、進行してがんが肺などに遠隔転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。



*1 ここていう「治る(=治療)」とは、診断時からの5年相対生存率です。
相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
出典: 全がん協加盟施設における5年生存率(2009～2011年診断例) 2010～2012

大腸がんは、早期のうちほとんど「自覚症状がありません」

みなさん「血便が出たら」とか「異常を感じたら」病院に行こうとおっしゃるんですが、大腸がんは、早期には自覚症状がないんです。「異常を感じたら」では、手遅れになる場合があります。だから検診は毎年定期的に受けてください。もちろん、血便、腹痛、便の性状や回数が変化した、などの症状がある場合は次の検診を待たずに病院に行きましょう。

大腸がん罹患する人が増加しており、女性の部位別がん死亡数第1位。男性でも肺がん・胃がんに次いで死亡者数が多いんです*2。検診を受けることでがんによる死亡リスクが減少します。命を守るため、大腸がん検診を必ず受けてください。



*2 出典: 国立がんセンター がん情報サービス「がん登録・統計」人口動態統計(2018年) 2019